

膨れ防止下地調整材

ナルブリッド B

1. はじめに

コンクリート下地に密着防水を施工した場合、下地の含水量に十分注意を払って施工したにも関わらず、夏場に防水層の膨れが発生し、補修する事態になることがよくあります。

ナルブリッドBは、遮熱特性を有する下地調整材です。ナルブリッドBを塗膜防水、シート防水の下地に塗布するだけで、夏場の膨れ現象を防止し、同時に絶縁層を形成します。

2. 特長

☆低比重、低熱伝導性を有する無機物により、ナルブリッドBの塗膜温度は、外気温より5～10℃低くなります。

☆下地の蒸気による防水層の膨れを防止します。

☆コンクリート、アスファルト等各種の下地との接着性に優れています。

☆下地が湿潤状態で施工しても、接着力は低下しません。

☆一液性なので混合手間がかからず、簡単に使用できます。

☆一度に全部使い切らない場合でも保存ができ経済的です。

3. 使用方法

①下地清掃

下地の土、砂、ゴミ、ほこり、油類、レイタンス等は接着力を低下させるので完全に除去し、洗浄してください。

②プライマーの塗布

ナルファルトWPまたはナルファルトAを水で15倍に希釈し、希釈液をブラシ、ローラー、刷毛などで擦り付けるように塗布してください。標準塗布量は、0.2～0.4kg/m²です。

③ナルブリッドBの塗布

・ナルブリッドBをディスパーで攪拌してください。

・プライマーの水分が蒸発したら、ナルブリッドBをコテまたはヘラで塗布してください。

標準塗布量は、1.2～1.4 kg/m²です。

④防水層の施工

ナルブリッドBが乾燥硬化し上に乗れるようになったら、規定の手順に従って防水を施工してください。

成瀬化学株式会社

ナルブリッド B 説明資料 220331 改.doc

4. 材料性状

主成分	アスファルト、アクリル、骨材
粘度	ペースト状
外観	黒褐色水性エマルジョン
荷姿	20リットルポリペール缶入り(15kg)
比重	0.75
塗布量目安	12.5m ² (塗り厚1.6mm)

5. 性能試験

☆接着試験 コンクリート下地、アスファルト防水下地に1mm厚に塗布し、材冷7日で建研式引張試験機を用いて計測しました。

下地種類	接着力(N/mm ²)	備考
コンクリート	0.1	層内破壊
アスファルト	0.1	層内破壊

☆断熱性能比較

材料	密度(g/cm ³)	熱伝導率(kcal/mh℃)
鉄	7.86	38.0
モルタル	2.11	1.2
ALC板	0.63	0.22
ナルブリッドB	0.72	0.15

ナルブリッドBの塗膜自体が温度変化を緩和し、コンクリート下地の温度上昇を抑え、蒸気の膨張を抑制することにより、防水層の膨れを防止します。

☆遮熱性 裏面温度の比較

60℃の炉に60分放置し、その時の裏面温度を計測しました。

材料	表面温度(℃)
ナルファルト WP	60.0
ナルブリッド B+ナルファルト WP	53.5

6. 注意事項

- ・降雨、降雪時の施工は避けてください。
- ・下地が湿っていても施工はできますが、水溜りは拭き取って下さい。
- ・凍結させると使用できなくなります。
- ・5℃以上で施工、養生を行ってください。

成瀬化学株式会社

ナルブリッド B 説明資料 220331 改.doc